



- ◇ 発行：中国情報通信懇談会
- ◇ TEL:082-222-3324 FAX:082-502-8152
- ◇ E-mail: jimukyoku@cic-infonet.jp
- ◇ <http://www.cic-infonet.jp/>

＜＜中国情報通信懇談会／地域情報化・コンテンツ部会事業＞＞

「教育情報化セミナーin松江」を開催

～ 新たな学びと地方創生～

中国情報通信懇談会は、総務省中国総合通信局の共催で「教育情報化セミナーin松江」を島根県松江市で開催します。

本セミナーは、教育の情報化に関する最新の動向と自治体によるタブレット端末や電子黒板などのICT機器の活用による協働学習の成果や課題に関する講演・パネルディスカッションを行い、これからの教育の情報化の在り方を探ることを目的として開催します。

1 日時：平成27年2月2日（月）13時30分から17時30分（受付13時から）

2 会場：松江東急イン 2階 オーク（松江市朝日町590）

3 開催内容

(1) 基調講演

【演題】「デジタル教科書：議論から実行へ」

【講師】慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科
教授 中村 伊知哉 氏

(2) 講演1

【演題】「佐賀県が進める教育の情報化の取組について」

【講師】佐賀県教育委員会 副教育長 福田 孝義 氏

(3) 講演2

【演題】「新見市における教育情報化の取組」

【講師】新見市教育委員会 教育長 中田 省吾 氏

(4) 講演3

【演題】「島前三島のICTを活用した離島ならではの教育」

【講師】島根県海士町 町長 山内 道雄 氏

(5) パネルディスカッション「教育現場にICTの整備を進める覚悟と展望」

【コーディネーター】広島大学大学院 教育学研究科 技術・情報教育学講座
教授 渡辺 健次 氏

4 主催等

主催 中国情報通信懇談会、総務省中国総合通信局

後援：島根県教育委員会、松江市教育委員会、島根県私立中学高等学校連盟

5 対象：自治体職員、教育関係者、教育情報化関連企業、学生、一般等

6 参加申込み方法等

(1) 参加費 無料

(2) 定員 100名（定員になり次第締切りさせていただきます。）

(3) 申込み先 下記のメールアドレスまたはFAXにより、
件名を「教育情報化セミナーin 松江参加申込み」とし、お名前、
法人または団体名、連絡先を記載の上お申し込みください。
なお、参加申込に際してお知らせいただいた個人情報については、
本セミナーの参加申込確認以外には使用しません。また、本セミナー
終了後には、速やかに処分します。

(4) 申込期限 平成27年1月28日（水）

(5) 問合せ先 中国総合通信局 情報通信部情報通信振興課
電 話 082-222-3466
FAX 082-502-8152
E-mail:chugoku-shinko/@/ml.soumu.go.jp

7 セミナー詳細は別添チラシをご参照ください。

教育情報化セミナー in 松江



～新たな学びと地方創生～

近年の教育分野におけるICTの利活用については、各自治体における学校現場への導入事例の増加のみならず、民間教育サービスにおけるタブレット端末の活用等の新たな学習スタイルの登場など、多様な動向が見られるところです。

本セミナーでは、教育の情報化に関する最新の動向と自治体によるタブレット端末や電子黒板などのICT機器の活用による協働学習の成果や課題などを紹介し、教育の情報化の在り方を探ってまいります。

参加無料
※うら面にて
お申し込み

●日時 **平成27年2月2日(月)** 13:30～17:30(受付13:00)

会場 **松江東急イン 2F オーク** (島根県松江市朝日町590 / JR松江駅北口より徒歩約3分)

対象 自治体、教育関係者、教育情報化関連企業、
学生のほか、教育情報化に関心がおありの方

定員 **100名** (先着順)

【主催者挨拶】 **総務省中国総合通信局長 黒瀬 泰平**

基調講演

『デジタル教科書:議論から実行へ』



中村 伊知哉 氏 (慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科 教授)

教育の情報化は20年以上、議論が積み重ねられてきているが、日本の動きは遅い。ただしこの1年、大きな動きがあった。熱心に取り組む地方自治体が増加し、政府の対応にも力が入っている。民間企業の取組も本格化している。予算、制度、インフラ整備など課題は山積しているが、これを前進させる策を共有したい。

講演1

『佐賀県が進める教育の情報化の取組について』



福田 孝義 氏 (佐賀県教育委員会 副教育長)

佐賀県では、教育の質を向上させ、社会の進展に応じた教育の推進を図るため、県政の最重要事業としてICT活用教育に取り組んでいます。特に、今年度からは、県立高校でも全校で学習用PC一人一台体制を導入し、事業の本格実施に移行しました。これまでの機器整備や教職員研修、新教育情報システムの開発の取組と今後の展望についてご紹介します。

講演2

『新見市における教育情報化の取組』



中田 省吾 氏 (新見市教育委員会 教育長)

新見市では、平成20年に市内全域に光ファイバーケーブルを敷設し、この情報インフラを活用して、小中学校でのICT教育を推進しています。平成26年10月には、中学生全員にタブレット端末を貸与し、電子黒板との双方向の授業を市内全中学校で進めています。

ICTを授業で有効に活用し、子ども達の学習意欲と学力の向上を図り、学校教育の未来を創造する「新見市の学びのイノベーション」について、講演します。

